

# 宇喜多秀家と小早川秀秋 ～豊臣秀吉チルドレン～

天正10(1582)年6月2日本能寺の変の後、山崎や賤ヶ岳、小牧長久手等の戦いを経て、羽柴（豊臣）秀吉が天下統一を目指していきます。

豊臣秀吉は、宇喜多秀家や小早川秀秋を自分の子どものように育て、豊臣一門として厚遇しました。

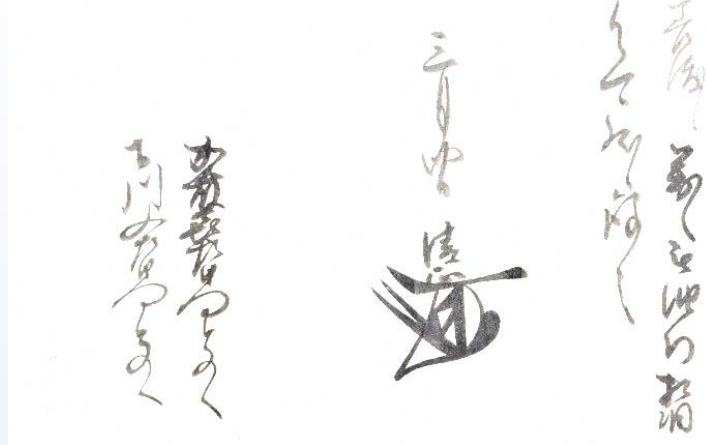
今回の展示では、秀家と秀秋にゆかりのある古文書を展示し、関ヶ原の戦いをはさんで、岡山城主となった二人の事績について紹介します。



小早川秀秋  
(署名・花押)



宇喜多秀家  
(花押)



加藤清正書状  
(部分)

主催 岡山県教育委員会 岡山県立博物館  
会期 平成29年11月30日(木)～12月24日(日)  
※毎週月曜日休館  
開館時間 午前9時30分～午後5時

会場 岡山県立博物館 第2展示室  
入場料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料  
主な展示資料

宇喜多秀家黒印状	文禄4(1595)年	安養寺蔵	県重文
小早川秀秋発給知行目録	慶長7(1602)年	本久寺蔵	
加藤清正書状	文禄2(1593)年	龍昌院蔵	初公開

学芸員による展示解説  
平成29年12月9日(土)、23日(祝・土)  
いずれも午後2時～3時